

看護師、准看護師、保健師、助産師、
管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、
臨床心理士、歯科衛生士、の資格を持つ医療従事者のみなさんへ

CDE-MIYAGI取得者の活動の様子

CDE-MIYAGI (宮城県糖尿病療養指導士) の資格を取得しませんか？



過去3回の認定講習会の様子

【CDE-MIYAGI資格取得のメリット】

- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できる
- ② 宮城県内の糖尿病療養指導に関する研修会の情報を、会員専用ホームページから入手できる
- ③ 仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなる
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなる



宮城県における糖尿病専門職の資格です

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取りたいが、受験資格の要件が満たせない
- 糖尿病患者さんへの指導には興味があるが、日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取るにはハードルが高い
- 資格を取得し、糖尿病に関する知識を深めたい
- 地域の糖尿病に関わる仲間と情報交換したい

このような事を考えていたり、悩んでいた方

宮城県糖尿病療養指導士 (CDE-MIYAGI) の資格取得をご希望の方へ

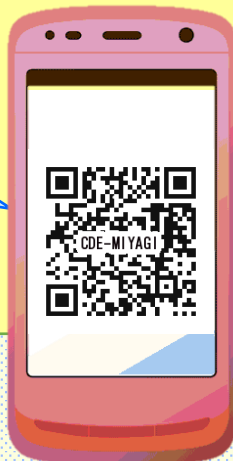
- ・ 2022年度 (第6回) は 2022年7月1日 (金) ~ 8月31日 (水) の期間、WEB開催 (オンデマンド配信) にて実施します。

詳しくは公式HPへGo!

QRコードを読み取ってね

下記の方も募集します

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) をお持ちの方
- 糖尿病看護認定看護師をお持ちの方
- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を失効して2年以内の方



お問い合わせ

- 宮城県糖尿病療養指導士認定委員会事務局
※ホームページからメールでのお問い合わせになります
<https://www.cde-miyagi.jp>



CDE-MIYAGIの資格を持ち、CDEJとして活躍している先輩にインタビュー



佐藤 伸輔 さん（東北医科薬科大学 若林病院 薬剤師）

Q1. CDEJの資格を取得したきっかけ

資格を取得しようと思ったのは、CDEJが出来て第2回の認定試験の時でした。まだ若かった私は、糖尿病の専門医がいる病院に勤務し、糖尿病患者さんに服薬指導を実施しているにも関わらず糖尿病に関して知識が足りていませんでした。そこで患者さんに有意義な服薬指導が出来るようになるため、資格取得を目標に糖尿病について学習することにしました。資格取得は、あくまで通過点でしかありませんが、糖尿病について深く学ぶきっかけになったと思います。

Q2. 糖尿病患者の療養指導をするにあたって、心がけていること

薬剤師として適正使用を遵守するのはもちろんですが、特に私は糖尿病患者さんにはライフスタイルに合わせた処方設計を心がけています。せっかく薬を飲むのだから少しでも効果を得られる服用方法にしたいと考えています。

Q3. コロナ禍において、取り組んだCDE活動について

現在、コロナ禍という事もあり糖尿病の薬に関する研修会が減っておりました。そのなか昨年11月29日に東北地区のコメディカルを対象にしたオンライン研修会を開催。病院と調剤薬局での情報共有をテーマにし、講演だけでなくwebでグループディスカッションも行いました。薬剤師だけでなく医師や看護師、栄養士にも参加していただき、webにも関わらず活発な議論ができました。この研修会では、病院と調剤薬局が太いパイプでつながることが、糖尿病患者さんに有意義な服薬指導をする一歩だと感じる事が出来ました。

Q4. CDE-MIYAGI資格取得者へ期待すること

糖尿病患者さんがより良いコントロールとなるためには、糖尿病に関する正しい知識、正しい技術を学ぶことがとても大切です。そのきっかけを作るのがCDE-MIYAGIの資格を取得した方々だと思います。是非資格を取得していただき、そこで得たものを患者さんに広めて欲しいと思います。



世界糖尿病デーの院内イベント
糖尿病チームの仲間と

田中 玲奈 さん（仙台厚生病院 看護師）

Q1. CDEJの資格を取得したきっかけ

新人として就職した病棟が糖尿病科と他科の混合病棟で、先輩が資格を持ち患者さんに関わる姿を見て、資格を取る事で患者さんと生活を共に考える上で役立つと思ったからです。

Q2. 糖尿病患者の療養指導をするにあたって、心がけていること

患者さんが今までどのような指導を受けてきて、何に気を付けてきたのかをまず教えていただくようにしています。

Q3. コロナ禍において、取り組んだCDE活動について

例年、院内の糖尿病サポートチームで世界糖尿病デー啓発活動として無料血糖測定や清涼飲料水の含有糖質量の展示等を行ってきましたが、2020年度は感染対策上実施できませんでした。しかし宮城県のメタボリックシンドローム該当者および予備群を合わせた割合は近年全国ワースト3位であることや、ステイホームの影響で運動不足の人が多くと予想される現状もありましたので、「ひと駅手前で降りて歩く事で消費できるカロリー」や、「間食で余分に摂ったカロリーを消費するにはどの程度の運動が必要なのか」を解説するチラシを作成し掲示・配布しました。対面でのイベントではないため感想が得づかったのですが、「結構歩かないと消費できないんだね」「これっぽっちしか歩いてないんだ」と普段の生活に照らし合わせて実感できたようでした。

Q4. CDE-MIYAGI資格取得者へ期待すること

糖尿病有病者と予備群は約1000万人と言われており、活動をしていく仲間が増える事が大事だと思うので、仲間が増えてうれしいです。年々糖尿病治療は進化しており、糖尿病療養に関する知識を継続して勉強する必要があります。CDE-MIYAGIでは研修会の情報を提供して下さるので、一緒に勉強を続けていきましょう！



院内での無料血糖測定



2020年開催院内イベント
の掲示物

